

重要文化財 「吉村家住宅」

5月5日(祝)・6日(振替休日)に特別公開

重要文化財「吉村家住宅」
(島泉5丁目・近鉄南大阪線
高鷺駅から北へ徒歩15分)
の春季特別公開は、5月5日
(祝)、5月6日(振替休日)の
2日間開催されます。開催時
間は、午前の部が10時～正
午、午後の部が1時～3時ま
で、見学料は500円です。

(小学生以下は保護者同伴
に限ります・中学生以下は無料で
す)今回も予約制で実施されます
ので、ご希望の方は社会教育課文
化財担当へ電話(958-1111)
またはFAX(956-7196)にて
お申し込みください。

吉村家は、鎌倉幕府を開いた
源頼朝の近くにあつて功を重ね



た武将・佐々木高綱の子孫で、鎌
倉時代初期に島泉付近に移り住
んだと伝えられ、江戸中期には、
現在の羽曳野市、松原市、八尾
市などのあった18カ村の大庄屋
を務めていました。住宅は、元和
元年(1615)大坂夏の陣の直後
に建築されたとみられ、桃山時代

の書院造りの建築様式を一
部に留める代表的な上層農
家の遺構です。

5,280㎡(約1,600坪)の
敷地には、主屋、長屋門や土
蔵などが、昔日のおもかげを
とどめて並んでいます。当日、
主屋では、つり部屋やカマド
がある土間、主人とその家族
が住んだ居室、古風な奥寄
せの玄関、書院造りの座敷、意匠
を凝らした明障子や欄間の透か
し彫り、長押の釘隠し金具、襖の
引き手などがある客室部などを
見学できますので、ぜひお出かけ
ください。

(社会教育課文化財担当

内線4480)

文化フォーラム 「お茶と日本人の心」

主催: 畑田家住宅活用保存会 協賛: 大阪大学総合学術博物館

茶の湯の世界は敷居が高く、堅苦
しいと思われがちですが、茶の湯に
は我々日本人の「衣・食・住」のい
ずれもの基本となる考え方が含まれて
おり、日本人の暮らしそのものに深く
根付いているものです。

欧米の文化が急激に入り込み、
欧米型になってきている今こそ、私
は茶の湯を通じて「日本人らしさ」と
いうものを失わないようにし、次世代
へ伝えていく必要があると考えてい
ます。

今回のフォーラムでは、茶の湯に
関する根本と言うべき利休の精神を
中心に、歴史的背景を含めてお話を
させていただき、少しでも日本の良
さ、また日本人らしさを知っていただ
く機会にできればと思っております。

講 師: 武者小路千家 家元 千 宗守
日 時: 平成21年5月24日(日)13時30分～17時
定 員: 先着30人
参 加: 往復はがきに「お茶のフォーラム」、
住所・氏名・年齢・参加人数を明記の上、
〒583-8585(住所不要)

羽曳野市教育委員会社会教育課文化財担当まで
費 用: 保存会会員 1,000円 非会員 2,000円
問合せ先: 畑田家住宅活用保存会
TEL 072-762-7495(当主: 畑田耕一)



畑田家住宅へのご案内

所在地 羽曳野市郡戸470
TEL 072-955-4101

交 通

近鉄南大阪線恵我ノ荘駅から南へ徒歩30分
同線河内松原駅から近鉄バス平尾行きに乗車、
郡戸バス停下車徒歩3分
同線河内松原駅あるいは藤井寺駅から
タクシー15分